

名古屋市デジタル人材育成事業

募集
30社

受講費
無料

名古屋市・名古屋工業大学・名古屋市立大学の連携事業です！

名古屋工業大学では、IoT・AI・ロボット等の導入、サイバーセキュリティ対策について、高い専門性と実践的な問題解決力を兼ね備えた人材を育てる「専門人材育成講座」を開催するとともに、専門人材・経営人材両講座での「合同講座」を開催します。

専門人材育成講座

2023年
7月開講！

工場やインフラ等の制御システムが攻撃されるサイバーリスクを把握し、対策を講じることができる専門人材を育成します。

サイバーセキュリティ対策

サイバー攻撃への防御策と、インシデント対応を習得できます。

16回

合同講座
2回

自社内の生産性や品質向上のための業務管理運用と、効果的なAI・IoT導入に向けたシステムを構築する人材を育成します。

AI・IoT導入

業務分析、データ収集・活用等実践的なスキルを習得できます。

生産性の向上等の課題を解決するために、ロボットシステム導入の提案・設計及び構築を行う専門人材を育成します。

ロボット導入

ロボットSlerスキル標準[※]のレベル1.2を習得できます。

[※] https://robo-navi.com/webroot/document/skill_sheet.pdf 参照

詳しくは、
このリーフレットおよび
Webサイトをご覧ください。

<https://nri.web.nitech.ac.jp>



主催：  名古屋市

運営：  名古屋工業大学

 IoT Acceleration
Nagoya city Lab

 名古屋市立大学

目的

この講座は、「IoT・AI・ロボットの導入及びサイバーセキュリティ対策」の計画や検討を進めるにあたり、必要な技術を習得し、導入・管理・運用ができる人材を育成することを目的としています。

受講対象者

- IoT・AI・ロボットの導入やサイバーセキュリティ対策を担う技術者等を対象とします。(経営者・経営幹部・部門長等を含む)
- 原則として名古屋市内に本社もしくは支社・支店・倉庫・工場等の事業・生産拠点がある企業に勤務されている方とします。
- 定員を超える申込があった場合、主催者(名古屋市)が事業の趣旨に基づき受講者を選定します。

募集要項

受講条件

- ①代表者が受講者の参加に同意されていること。
- ②「受講にあたっての確認書(※)」に同意いただけること。

(※)「受講にあたっての確認書」(以下抜粋)

- 講座全日程への出席…受講企業は、「専門人材育成講座」の全日程(16回)合同講座(2回)への参加が必要です。
各テーマ(編)単位で受講者を変えることも可能です。(1社最大3名まで)
合同講座は①のワークショップは各社1名、②の見学・講演会は各社1名が①～③のうち1つを選択して、参加を必須とします。
特段の理由なく無断での欠席や受講者の変更が行われた場合は、以降の講座出席をお断りする場合があります。
※感染症等の状況により、対面講義がWeb講義に変更になる場合があります。
- 機密保持…講座内容のメディアへの記録、配布資料の使用・転用、講座内で得た他社の機密事項等を他に漏らすことを禁じます。
- 安全への留意…ご自身の安全には十分にご注意ください。なお、感染症対策として、ご出席者にも感染予防と拡大防止について積極的なご協力をお願いします。(発熱症状がある日の受講者変更など)
- 交通費などの実費負担…交通費など、講座受講にかかる費用は各々(各社)でご負担ください。
- アンケート調査へのご回答など…**各回アンケート及び講座終了後のフォローアップ調査へのご回答等を必ずお願いします。**

以上をご了解いただき、代表者または所属長のご承認を得た上で、受講者ご本人のご署名をいただきます。

講師紹介



名古屋工業大学 准教授 大塚 孝信

- 2015年 名古屋工業大学大学院博士後期 課程修了 博士(工学)
- 2012年～ 名古屋工業大学特任助教
- 2015年～ 同大学プロジェクト助教
(その間、カリフォルニア大学アーバイン校客員研究員)
- 2018年～ 名古屋工業大学大学院 情報工学専攻 准教授

IoTおよび異常検知、予測に関する研究・開発に従事。
海洋、製造業、医療向けIoTのデバイス開発から予測まで一貫した研究を行う。



名古屋工業大学 名誉教授 橋本 芳宏

- 1985年 京都大学化学工学専攻博士課程(単位取得退学)
- 1985年 名古屋工業大学 生産システム工学科 助手
- 2003年 名古屋工業大学 教授
- 2023年 名古屋工業大学 ものづくりDX研究所 名誉教授

制御系サイバーセキュリティ、プロセス制御、運転支援、障害者支援などの研究に従事。
IPA産業サイバーセキュリティセンター講師。



名古屋工業大学 客員教授 越島 一郎

- 1979年 早稲田大学大学院工学研究科応用化学専攻修士課程修了
- 1979年 千代田化工建設(株)入社
- 1998年 千葉工業大学 プロジェクトマネジメント学科 助教授・教授
- 2008年 名古屋工業大学 教授
- 2019年 名古屋工業大学 ものづくりDX研究所 客員教授

重要インフラ防御のための制御システムセキュリティを研究。現在、専門委員としてIPA産業サイバーセキュリティセンターの運営と教育・研究。



名古屋工業大学 教授 荒川 雅裕

- 1995年 埼玉大学大学院 理工学研究科博士後期課程修了(博士(工学))
- 1996年 関西大学 工学部 助手
- 2002年 マサチューセッツ工科大学 客員研究員
- 2003年 関西大学 同学部 助教授
- 2010年 関西大学 環境都市工学部 教授
- 2012年 名古屋工業大学 工学部 教授

現在、生産システムの最適化技法の研究、設計・製造の情報システムの開発に従事。名古屋工業大学 社会人教育カリキュラム「工場長養成塾」塾長。
名古屋工業大学 先進生産技術研究センター 先進製造戦略部門担当。



株式会社バイナス 取締役 永井 伸幸

- 1998年 ユニー株式会社(バイナス事業部)入社
- 2008年 株式会社バイナス法人化に伴い転籍 同社 取締役技術部長
- 2022年 同社 取締役第一営業部長

職業訓練指導員
ロボットシステムインテグレータースキル標準策定委員
「ロボットシステムインテグレータのスキル読本」執筆。
高度ボルトセンター「ロボットによるシステム設計技術(ロボットシステム導入編)」講師。



ミツイワ株式会社 顧問 羅本 礼二

- 1979年 早稲田大学政治経済学部卒業
- 1981年 ミツイワ株式会社入社
- 2015年 取締役社長就任
- 2023年～ 現職

FA/ ロボットシステムインテグレーター協会の設立時には中枢メンバーとして活動。ロボットの普及とSier育成の為、経済産業省への政策提言や東京大学ものづくりインストラクター養成スクールでの講師などを通じて精力的に活動中。



株式会社バイナス 技術部長 坂口 雅浩

- 2002年 名古屋工業大学大学院 博士前期課程修了
- 2004年 中央立体図株式会社(現 CDS株式会社)入社
- 2014年 株式会社バイナス入社
- 2018年 同 技術部長

2次元/3次元ビジョンセンサ、力覚センサ、触覚センサ等の「感覚」を持つロボットを搭載した生産システムの開発に従事。



ミツイワ株式会社
スマートファクトリービジネス推進部 副部長 深瀬 哲也

- 1990年 株式会社通商システムエンジニアリング(現富士通株式会社)入社
- 2016年 ミツイワ株式会社入社

それまでのITシステム導入経験を活かし、FA技術者とともにロボットシステム導入手順(RIPs)を策定。
現在、実案件を行いながらRIPsの普及活動に従事する。

専門人材育成講座 プログラム概要

※感染症対策等として、Web講義形式とするなど、日程・内容・方法が変更になる場合があります。

		日 程	時 間	テーマ
サイバーセキュリティ対策編	1	7/13 ^木	9:30~12:30	主催者挨拶・事務局オリエンテーション 講 義 制御システムとセキュリティ 演 習 工場へのサイバー攻撃
	2		13:30~16:30	演 習 制御システムへのハッキング 講 義 サイバー攻撃への防御策
	3	7/20 ^木	9:30~12:30	講 義 セキュリティとリスクマネジメント 演 習 仮想製造企業を想定したサイバーインシデント演習①
	4		13:30~16:30	演 習 仮想製造企業を想定したサイバーインシデント演習② 総 括
	5	9/13 ^水	13:00~16:00	事務局オリエンテーション 講 義 IoTとその応用(最新技術動向とサービスを俯瞰)
	6	9/14 ^木	13:00~16:00	演 習 センサの特性とネットワーク構成&ペーパープロトタイピング
AI・IoT導入編	7	9/20 ^水	13:00~16:00	演 習 Arduinoとセンサを接続してみよう
	8	9/21 ^木	13:00~16:00	演 習 ESP32マイコンでWi-Fi通信をしてみよう
	9	9/27 ^水	13:00~16:00	演 習 プロトタイピング(何らかのデータをとるシステムを作ってみよう)
	10	9/28 ^木	13:00~16:00	演 習 プロトタイピングと評価 講 義 講評と未来のIoTシステムについて
ロボット導入編	11	10/4 ^水	13:00~16:30	事務局オリエンテーション 講 義 ロボット導入の基本的な考え方(導入環境の整備等)
	12	10/13 ^金	13:30~16:30	講 義 営業技術・仕様書作成
	13	10/20 ^金	13:30~16:30	講 義 ロボット・IoT・AIの活用とプロジェクトマネジメントの重要性
	14	10/27 ^金	13:30~16:30	講 義 ロボットシステムにおける設計技術
	15	11/2 ^木	13:30~16:30	講 義 協働ロボット利用技術 演 習 リスクアセスメント演習
	16	11/10 ^金	13:30~16:30	演 習 ロボット導入に伴う、工程及びレイアウト変更検討と成果発表

※1「AI・IoT導入編」の講義では、Wi-Fi環境に接続可能なノートPCが必要となりますので必ずご持参ください。PCのスペックはArduino IDE(<https://www.arduino.cc/en/software>)が動作するものが最低条件となります。

※2「AI・IoT導入編」の受講には、予め「Arduino」の入門・基礎書籍等のご一読をお薦めします。

専門人材育成講座 経営人材育成講座	合同講座		1 業務モデリングワークショップ	8/2 ^水	13:00~17:00	【講師】 RSfact 株式会社 代表取締役 鈴木 涼平 代表の鈴木を中心として、 社員一人ひとりに寄り添う独自のメソッドにより、 中小企業における1歩目のDXを支援する企業です。		～DXとは何か、デジタル化事例、業務モデリングとは～ 中小企業においても今すぐにDXを進めるべきだと理解し、そのために実用的なスキルを1つ習得することを目標とします。 ▶DXの必要性を理解する。 ▶業務モデリングの手法を理解し、自分の業務を図式で説明できるようになる。
			2-① 株式会社山田製作所 見学・講演会	9/6 ^水 ※	9:30~11:30	【講師】 株式会社山田製作所 代表取締役 山田 英登 ものづくりテラス 代表 林 芳樹		～IoT導入事例紹介等～ IoTを導入している企業の方々に、導入に関して苦労したこと、導入して得られた効果等を実際に現地にてお話いただきます。
			2-② 株式会社山田製作所 見学・講演会	9/6 ^水 ※	13:30~15:30			
			2-③ 協和工業株式会社 見学・講演会	10/24 ^火 ※	14:00~16:00	【講師】 協和工業株式会社 代表取締役 鬼頭 佑治		

※2の見学・講演会は上記日程より1日を選択していただけます。感染症の状況により、開催方法や日程、参加人数を変更・制限させていただく場合がございます。
(合同講座につきましては、各講座参加者に改めてご案内いたします。)

「受講申込書」をなごやロボット・IoTセンターのWebサイトよりダウンロードし、必要事項をご記入の上、電子メールに添付して、ご送信ください。
「AI・IoT」「サイバーセキュリティ」「ロボット」のテーマ(編)により分担して受講を申込まれる場合は、テーマ(編)ごとにそれぞれご記入、ご送信ください。



【Web】<https://nri.web.nitech.ac.jp>

①メール送信先：n.r.i.center@adm.nitech.ac.jp

件名：名古屋市専門人材育成講座申込

②受付順にこちらから電子メールにて申込受付連絡をいたします。

なお、3営業日以内に届かない場合は、ご連絡ください。(TEL:052-735-7547)

③受講の可否については、募集締切後に電子メールでご連絡します。

定員を超える申込があった場合、主催者(名古屋市)が事業の趣旨に基づき受講企業(受講者)を選定します。

募 集

30社

受 講 費

無料 (ただしオンライン講義にかかる通信料は自己負担)

募集期間

2023年5月29日(月)～2023年6月15日(木)まで

会 場

名古屋工業大学 4号館1階 産学官交流スペース 他



国立大学法人
名古屋工業大学 産学官金連携機構

Nagoya Robot and IoT Center
なごやロボット・IoTセンター

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

TEL : 052-735-7547

E-mail : n.r.i.center@adm.nitech.ac.jp

URL : <https://nri.web.nitech.ac.jp>

Access

- J R … 中央本線 鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
- 地下鉄 … 鶴舞線 鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
- 桜通線 吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)

- 市バス … 栄18 名大病院下車(東へ約200m)
- 昭和巡回 名大病院下車(東へ約200m)
- ※「栄18」「昭和巡回」は市バスの系統名です。